科目名【英】	保健体育【Health and Physical Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	月曜日	時　限	2限

担当教員	片上 かの子	実務者経験	2012年 大阪体育大学にて中学・高等学校保健体育教諭第1種免許状取得 2020年 鍼灸・スポーツトレーナーとして開業

学習内容	様々なスポーツ種目において生じるスポーツ障害・外傷についての評価・処置・運動療法等の習得を目指す。
到達目標	基礎的なスポーツ障害・外傷において必要な対応・処置に関する知識の習得。

準備学習 時間外学習	解剖学の復習、外傷の評価方法の復習
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	受講時は基本的に白衣着用

成績評価	本試験 60% 出席 40%

授業計画【内容･目標】		
1	上肢のスポーツ障害	野球肩、水泳肩、肩関節脱臼、腱板損傷(インピンジメント)　評価/治療/運動療法
2	上肢のスポーツ障害	野球肩、水泳肩、肩関節脱臼、腱板損傷(インピンジメント)　評価/治療/運動療法
3	上肢のスポーツ障害	斜角筋症候群、頸肩症候群　評価/治療/運動療法
4	上肢のスポーツ障害	斜角筋症候群、頸肩症候群　評価/治療/運動療法
5	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
6	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
7	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
8	女性疾患について	女性アスリートの三徴候,REDS,生理痛への対応など
9	自律神経について	アスリートが直面する自律神経への問題
10	現場で使えるリンパ治療	リンパの流れに対する治療
11	試験前復習	
12	試験	

授業計画【内容･目標】		
1	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
2	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
3	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
4	下肢のスポーツ障害	シンスプリント,腓骨筋腱炎,アキレス腱炎　評価/治療/運動療法
5	下肢のスポーツ障害	シンスプリント,腓骨筋腱炎,アキレス腱炎　評価/治療/運動療法
6	テーピング	足関節へのテーピング
7	救急処置	スポーツ現場で直面する救急処置
8	実践的ストレッチ	セルフストレッチ,ペアストレッチ
9	実践的ストレッチ	セルフストレッチ,ペアストレッチ
10	スポーツ選手のコンディショニング	試合期,トレーニング期等に合わせたコンディショニング
11	試験前復習	
12	試験	

科目名【英】	マネジメント学 Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	2学期	曜　日	土曜	時　限	1 2限

担当教員	西川　和義	実務者経験	2004年～西川東洋医学研究所　院長

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし　　【配布資料】あり
留意点 備　考	

成績評価	本試験（レポート）＋出席点

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、バイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	開業に向けて	接遇マナー
6	開業に向けて	接遇マナー
7	開業に向けて	マーケティング
8	開業に向けて	患者さん対応
9	開業に向けて	介護現場
10	開業に向けて	介護現場
11	開業に向けて	保険診療
12	開業に向けて	まとめ

科目名【英】	臨床医学総論②【Clinical Medicine in General】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：木曜 2学期：月曜 3学期：火金	時　限	1限

担当教員	髙木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約8回小テスト実施。期末試験80％＋小テスト20％で評価。再試験は試験100％、小テストは含まない。

授業計画【内容･目標】		
1	診断学32	全身状態の診察15【皮膚・粘膜・皮下組織４】
2	診断学33	全身状態の診察16【皮膚・粘膜・皮下組織５】
3	診断学34	全身状態の診察17【皮膚・粘膜・皮下組織６】
4	診断学35	全身状態の診察18【皮膚・粘膜・皮下組織７】
5	診断学36	局所状態の診察１【頭頸部１】
6	診断学37	局所状態の診察２【頭頸部２】
7	診断学38	局所状態の診察３【胸部・腹部】
8	診断学39	局所状態の診察４【直腸・肛門・外性器・背部】
9	診断学40	局所状態の診察５【四肢】
10	診断学41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査１【概要・尿検査１】
11	試験案内・解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学42	臨床検査２【尿検査２・糞便検査・血液検査】
2	診断学43	臨床検査３【血液生化学検査】
3	診断学44	臨床検査４【免疫学的検査】
4	診断学44	臨床検査４【自己抗体検査】
5	診断学44	臨床検査４【喀痰検査】
6	診断学44	臨床検査４【髄液検査】
7	診断学44	臨床検査４【関節液検査】
8	診断学45	生命徴候の診察１【体温】
9	診断学46	生命徴候の診察２【脈拍】
10	診断学47	生命徴候の診察３【血圧１】
11	試験案内・解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学48	生命徴候の診察４【血圧２】
2	診断学49	生命徴候の診察５【呼吸】
3	診断学50	身体計測・神経系の診察１【感覚系の診察１】
4	診断学51	神経系の診察２【感覚系の診察２】
5	診断学52	神経系の診察３【反射の診察】
6	診断学53	神経系の診察４【脳神経系の診察１】
7	診断学54	神経系の診察４【脳神経系の診察２】
8	診断学54	神経系の診察４【髄膜刺激症状の診察１】
9	診断学55	神経系の診察５【運動機能の診察２】
10	診断学56	神経系の診察６【運動機能の診察２】
11	診断学57	神経系の診察７【運動機能の診察３】
12	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：火 金 2学期：水曜	時　限	1学期：1限 2学期：2限

1学期 担当教員	竹中　美樹	1学期 実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とす

準備学習 時間外学習	1年次、2年次に学んだ解剖学・生理学の復習
使用教材	【教科書】臨床医学各論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	なし

成績評価	各学期に小テストを実施。期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	肝胆膵疾患	肝疾患
2	肝胆膵疾患	肝疾患
3	肝胆膵疾患	胆道疾患
4	肝胆膵疾患	胆道疾患
5	肝胆膵疾患	膵臓疾患
6	血液疾患	赤血球疾患
7	血液疾患	白血球疾患
8	血液疾患	白血球疾患
9	血液疾患	リンパ　出血性素因
10	その他領域	皮膚科疾患
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

2学期 担当教員	中土　育弘	実務者 経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業	

学習 内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。	
到達 目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。	

準備学習 時間外学習	1、2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	消化器系疾患１	口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる。
2	消化器系疾患２	胃・十二指腸疾患、腸疾患について説明できる。
3	消化器系疾患３	腹膜、その他の消化器疾患について説明できる。
4	循環器疾患１	循環器の解剖生理学、心臓疾患について説明できる。
5	循環器疾患２	動脈疾患、血圧異常、その他の循環器疾患について説明できる。
6	一般外科	熱傷、凍傷と凍瘡、ショック、救急処置、心肺蘇生術について説明できる。
7	麻酔科１	全身麻酔の種類と方法・特徴、脊髄くも膜下麻酔について説明できる。
8	麻酔科２	硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔・伝達麻酔について説明できる。
9	耳鼻科疾患	耳の構造、耳鼻科疾患について説明できる。
10	精神科疾患	神経症、統合失調症、うつ、心身症、その他の疾患について説明できる
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

科目名【英】	リハビリテーション医学②【Rehabilitation Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	木曜	時　限	1.2限：2限 3学期：1限

担当教員	中塚　和樹	実務者経験	2002年4月～　大和中央病院所属。 外来・入院の急性期～回復期までのリハビリテーションを行う。

学習内容	一般病院でのリハビリテーション対象疾患となる病態の理解と基本的な運動療法知識の習得。
到達目標	各疾患に対する運動療法に対して必要な知識と基礎的な評価・運動療法技術の習得。

準備学習 時間外学習	運動学・解剖学・各種病態の基礎知識の理解を進める。
使用教材	リハビリテーション医学　第4版（東洋療法学校協会）　配布プリント
留意点 備　考	授業のはじめと最後に同一の小テストを行い、授業内での予習復習を行うこと。 授業行う教室は適宜変更していくため、確認しておくこと。

成績評価	期末試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	脊髄損傷１	①脊髄損傷の後遺症　②教科書　③プリント　PC　プロジェクター　④教室
2	脊髄損傷２	①脊髄損傷の運動療法概論　②教科書　実技可能な服装 ③プリント　PC　プリント車椅子　松葉杖　④実技室
3	切断	①切断の合併症　義足について　②教室　③プリントPC　プロジェクター　④教室
4	小児リハ１	①正常発達の理解　②教科書　③プリント　PC　プロジェクター　④教室
5	小児リハ２	①脳性麻痺の定義・分類の理解。②教科書③プリント・PC・プロジェクター④教室
6	リウマチ	①リウマチの病体生理と変形予防の運動療法②教科書 ③プリントPC　プロジェクター④教室
7	末梢神経障害	①末梢神経損傷の病体生理（各変形の生理）②教科書 ③プリント　PC･プロジェクター
8	パーキンソン病	①パーキンソン病の病体生理②教科書③プリント　PC　プロジェクター④教室
9	呼吸器疾患 （胸郭の運動学）	①慢性閉塞性肺疾患の病体生理（呼吸生理学・運動学）②教科書・実技可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ラジカセ　聴診器　④実技室/鍼灸実技室
10	形態測定	①試験解説　四肢長測定　②教科書　計測しやすい服装 ③プリント　メジャー　④実技室
11	１期まとめ	①試験前まとめ　②教科書　プリント　③PC　プロジェクター　④教室
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	形態測定	①周径測定　②教科書　計測しやすい服装　③プリント　メジャー　④実技室
2	関節可動域測定１	①上肢の関節可動域測定　②教科書　計測しやすい服装　③教科書　④実技室
3	関節可動域測定２	①下肢の関節可動域測定　②教科書　計測しやすい服装　③教科書　④実技室
4	肩関節周囲炎 （肩関節運動学）	①肩関節の機能解剖学と肩関節周囲炎の病態と運動療法（関節可動域改善と筋力強化） ②教科書P134～P137　P202～P208 ③プリント　実技可能服装　ダンベル　PC　プロジェクター④鍼灸実技室
5	腰痛 （脊椎運動学）	①腰痛の病体生理（腰椎・骨盤の運動学）②教科書・実技が可能な服装 ③プリントPCプロジェクター　簡易ベッド　④基礎医学教室/鍼灸実技室
6	変形性膝関節症 （膝関節運動学）	①変形性膝関節症の病体生理（膝関節の運動学）②教科書・実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　簡易ベッド　テーピング ④基礎医学教室/鍼灸実技室
7	変形性股関節症　大腿骨頸部骨折 （股関節運動学）	①大腿骨頚部骨折の病体生理（股関節の運動学）②教科書 ③プリント　PC　プロジェクター　簡易ベッド　④基礎医学教室/鍼灸実技室
8	徒手筋力テスト1	①上肢の徒手筋力測定　②教科書　測定しやすい服装　③プリント　④実技室
9	徒手筋力テスト1	①下肢の徒手筋力測定　②教科書　測定しやすい服装　③プリント　④実技室
10	物理療法１	①２期試験解説と物理療法　②教科書　③プリントPC　プロジェクター　④教室
11	２期まとめ	①試験前まとめ②教科書　プリント　③PC　プロジェクター　④教室
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	物理療法２	①物理療法　②教科書　③プリントPC　プロジェクター　④教室
2	関節可動域訓練１ (頚椎足関節運動学)	①頚椎　足関節の関節可動域訓練　②教科書・実技が可能な服装 ③プリント④実技室
3	関節可動域訓練２ （肩・股関節）	①肩　股関節の関節可動域訓練　②教科書・実技が可能な服装③プリント④実技室
4	筋力トレーニング1	①筋力増加のメカニズム　上肢の筋力強化方法　②教科書　実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ダンベル等　④実技室
5	筋力トレーニング2	①体幹下肢の筋力強化方法　②教科書　実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ダンベル等　　④実技室
6	国家試験対策１	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
7	国家試験対策２	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
8	国家試験対策３	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
9	国家試験対策４	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室

10	3期まとめ	①試験前まとめ②教科書プリント③PC　プロジェクター④教室
11	試験	試験
12	3期試験解説と 総まとめ	①試験解説　国家試験対策②教科書・プリント③PC　プロジェクター④教室

科目名【英】	東洋医学臨床論③ 【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	1学期	曜　日	金曜	時　限	2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編）　配布資料・B5ファイル
留意点 備　考	特になし

成績評価	小テストを実施、学期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	スポーツ障害①	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
2	スポーツ障害②	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
3	スポーツ障害③	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
4	スポーツ障害④	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
5	スポーツ障害⑤	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
6	高齢者医療	現代医学的病態把握
7	高齢者医療	現代医学的病態把握
8	高齢者医療	現代医学的病態把握
9	診察の記録・評価法	施術記録（ＳＯＡＰ分類）・痛みの評価
10	診察の記録・評価法	各種領域の評価法（耳鼻科・消化器科・婦人科・泌尿生殖器科・精神科・高齢者）
11	ふりかえり	1学期内容まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	関係法規【Legal Issues in Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：月曜 2学期：水曜	時　限	1学期1限 2学期1限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	・はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第7版
留意点 備　考	

成績評価	本試験70%　平常点30%

授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？　評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意　　施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か　　法の種類
7	国試演習①	総合領域
8	国試演習②	総合領域
9	国試演習③	総合領域
10	国試演習③	総合領域
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	医事法規と医療制度・医療法	病院・診療所・助産所について
2	国家試験願書下書き	願書練習
3	国家試験願書本番	願書本番
4	医療法	病院・診療所・助産所について
5	医師法 その他の医療従事者に関する法律衛生関係法規	各医療従事者の法律 保健一般・予防衛生・環境衛生に関する法律
6	社会福祉関係法規 社会保険関係法規	福祉の7法 医療保障制度
7	国試演習①	総合領域
8	国試演習②	総合領域
9	国試演習③	総合領域
10	国試演習④	総合領域
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	はりきゅう実技⑦～特殊鍼法I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：水曜 2学期：木曜 3学期：土曜	時　限	1学期：1限 2学期：1限 3学期：1.2限

1学期担当教員	向井　陽子	実務者経験	2003年より3年半　リハビリ施設でリハビリ助手として勤務 2006年より向井鍼灸院を開院　現在に至る

学習内容	本授業では、スポーツ現場において求められる鍼灸施術を想定し、簡易姿勢評価を基盤とした評価能力と、経絡を全身のつながりとして捉える思考力、筋膜刺鍼・灸・手技を組み合わせた実践的施術技術の習得を目的とする。 経絡は特定の流派や証決定を目的とするものではなく、評価結果を整理し、施術選択を考えるための思考の枠組みとして用いる。 毎回の授業冒頭に簡易姿勢評価およびバランス評価を行い、「評価 → 経絡的整理 → 施術 → 再評価」の流れを反復することで、臨床現場で即応できる実践力の定着を図る。
到達目標	・簡易姿勢評価およびバランス評価を実施できる　・評価結果を経絡の流れと関連づけて整理できる ・評価をもとに施術部位・施術方法を考えることができる　・筋膜刺鍼の基本操作を安全に行うことができる ・灸・手技を目的に応じて併用できる　・施術前後の変化を観察し、説明できる 3年生では評価結果をもとにした施術選択および説明能力の向上を目指す。

準備学習 時間外学習	解剖学・経絡経穴概論の予習が必要。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	副教材として解剖学・経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	・授業態度　・実技への取り組み　・評価内容の記述および実技試験の結果 期末試験60%＋平常点（提出物の採点込み）40%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション・簡易姿勢評価	授業の進め方、簡易姿勢評価・バランス評価の目的と方法
2	筋膜刺鍼の基礎①	下肢の浮腫・疲労に対する鍼灸施術および手技
3	筋膜刺鍼の基礎②	全身疲労に対する鍼灸施術および手技 局所評価から全身調整への展開
4	スポーツ障害①	下肢（足関節・下腿）に対する評価と施術
5	スポーツ障害②	下肢のオーバーユース障害（シンスプリント等）に対する評価と施術
6	スポーツ障害③	上肢（肘関節）に対する評価と施術
7	スポーツ障害④	筋損傷（肉離れ）に対する評価と施術
8	競技・現場を想定した施術	短時間施術の組み立て

9	総まとめ・振り返り	評価から施術、再評価までの流れの整理
10	試験説明・実技練習	試験内容・評価基準の説明および練習
11	実技試験①	期末試験
12	実技試験②	期末試験

2学期 担当教員	佐々木　友子	実務者経験	2007年～2015年　専門学校にて講師 2008年～　鍼灸治療院などにて鍼灸治療に従事

学習内容	臨床でよく診る症状に対する基本的な治療について
到達目標	実践的な鍼灸治療の基本を身に付ける、知熱灸をできるようになる。

準備学習 時間外学習	日々、片手挿管と施灸の練習、経絡経穴を覚える
使用教材	配布プリント
留 意 点 備　　考	疑問点があればすぐに質問をすること

成績評価	実技試験

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	望診・切診	仰臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
2	望診・切診	伏臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
3	肩こりの治療	弁証、治療法、実技指導
4	倦怠の治療	弁証、治療法、実技指導
5	腰痛の治療	弁証、治療法、実技指導
6	頭痛の治療	弁証、治療法、実技指導
7	便秘の治療	弁証、治療法、実技指導
8	風邪の治療	弁証、治療法、実技指導
9	月経前症候群の治療	弁証、治療法、実技指導
10	振り返り・まとめ	２学期の振り返り・まとめ、試験対策
11	定期試験	定期試験
12	定期試験	定期試験

3学期 担当教員	柳岡　比登美	実務者経験	1999年免許取得、病院リハビリ科勤務・在宅訪問治療院勤務・鍼灸整骨院勤務を経て開業。主に女性や高齢者に特化した臨床経験が豊富です。

学習内容	3学期：近年、新たに登場した分野である「美容鍼」の基本的知識と手技および婦人科疾患の関わりも含め 身体のトータルケアを目指すことができるよう、現代医学的な治効理論や科学的情報の活用を学びます。
到達目標	3学期：①「美容鍼」に必要な基礎知識を修得することができること ②臨床現場で活用ができることを目標とします。

準備学習 時間外学習	3学期：消毒・押手・切皮・抜鍼など刺鍼に関する基礎動作を各自再確認するようお願いいたします。
使用教材	3学期：授業前に資料プリントを配布いたします。自立する手鏡の持参をお願いいたします。
留 意 点 備　　考	3学期：衛生管理には特に注意してください。

成績評価	3学期：期末実技試験(100%)の結果に授業1コマ欠席(−5点)を加算し、成績評価とします。

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	美容鍼灸理論/実技	美容鍼の認知と今後の展望/道具の選び方と基本刺鍼
2	美容鍼灸理論/実技	現代の主な美容医療と鍼灸の併用/主要経穴への刺鍼
3	美容鍼灸理論/実技	皮膚の解剖生理の復習/主要経穴への刺鍼
4	美容鍼灸理論/実技	シワ・たるみの原因と美容鍼の効果/頭鍼の基礎
5	美容鍼灸理論/実技	美容鍼灸の効果(皮膚・筋肉・全身)/通電の基礎と筋アプローチ
6	美容鍼灸理論/実技	内出血のマネジメント(刺鍼による有害事象)
7	美容鍼灸実技	同意書とカウンセリング・施術立案
8	美容鍼灸実技	クライアントの評価とクロージング・アフターフォロー
9	試験前復習	3学期に学んだ内容を説明できる 3学期で学んだ内容を実践できる
10	試験	試験
11	試験	試験
12	美容鍼灸実践	同意書→カウンセリング→施術立案→施術→クロージング→カルテ

科目名【英】	はりきゅう実技⑧～中医診断治療学Ⅱ～ Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	土曜	時　限	1 2限

担当教員	副田　恵子	実務者経験	1999年4月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	1、２年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

、

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具　配布プリント
留意点 備　考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験80％程度＋小テスト20％程度で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	頚肩腕痛①	２年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	頚肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	肩関節痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	肩関節痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	脱毛症①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	復習
11	試験	
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	眩暈①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	眩暈②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面麻痺①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面麻痺②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	便秘・下痢①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	便秘・下痢②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	眼精疲労①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	鼻閉鼻汁①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	鼻閉鼻汁②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	耳鳴り・難聴①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	耳鳴り・難聴②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	胸痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	胸痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	試験	試験
8	試験	試験
9	呼吸困難①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	

11	復習	
12	復習	

科目名【英】	はりきゅう実技⑨～臨床応用学Ⅱ～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：土癰 2 3学期：火曜	時　限	1学期：12限 23学期：2限

1学期担当教員	伊佐治　景悠	実務者経験	2018年明治国際医療大学大学院　博士後期課程　修了 2018年～SR鍼灸グループ総院長

学習内容	1学期：現代医学的な観点からの臨床技術を学ぶ。解剖学や生理学に基づいた刺入理論を理解する。
到達目標	1学期：狙ったポイントに刺入と刺激ができ臨床現場で実践できる技術レベルに到達することを目的とする。

準備学習時間外学習	
使用教材	
留意点 備　考	学校で決められたこと（容姿、準備、片付けなど）を守る。 実技は危険を伴うことがあるので、私語を慎み、説明をよく聞き、慎重に行う。

成績評価	1学期：定期試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	刺入の基礎①	直刺、斜刺、横刺など刺鍼の基本
2	刺入の基礎②	刺鍼部位や目的に合わせた刺手と押手の基本
3	鍼通電刺激	通電器の使用方法と臨床的意義
4	鍼鎮痛	下行性痛覚抑制系の賦活と局所鎮痛
5	頸肩部刺鍼	運動鍼などを活用した硬結へのアプローチ
6	腰部刺鍼	傍脊柱筋や腰方形筋などへのアプローチ
7	膝関節刺鍼	変形性膝関節症などへのアプローチ
8	中髎刺鍼	中髎の取穴と骨膜刺激
9	陰部神経刺鍼	刺鍼部位の取穴と陰部神経刺激
10	総復習	各刺鍼方法の復習
11	試験	実技試験
12	試験	実技試験

2 3学期 担当教員	小西　未来	実務者経験	医療法人池岡診療所　池岡鍼灸院（2010年～）

学習内容	疾患の鑑別、治療法と技術の習得
到達目標	・よく使用する施術部位の触知、刺鍼が出来る。 ・臨床を想定した声掛け、施術方法、刺鍼方向、安全深度を選択し、実施できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料あり。
留意点 備　考	

成績評価	本試験80%、出席点20%　　本試験は実技と筆記の合計点とする。

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	下肢の神経痛①	主に腰椎に由来する下肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
2	上肢の神経痛①	主に頸部に由来する上肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と頚部への刺鍼
3	腰痛症	腰痛を主訴とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
4	肩こり①	肩こりを主訴とする疾患の鑑別と肩背部への刺鍼
5	肩こり②	頚部への鍼通電による肩背部へのアプローチ
6	足底腱膜炎の治療	下腿三頭筋、足底部への刺鍼
7	上腕骨外/内側上顆炎	上腕骨外側上顆炎と上腕骨内側上顆炎に対する刺鍼
8	上肢の神経痛②	前腕部の絞扼神経症障害の鑑別と刺鍼
9	下肢の神経痛②	下肢の神経痛の原因となる臀部への刺鍼
10	試験	
11	試験	
12	復習	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	パーキンソン症状	パーキンソン病（症候群）の鑑別と筋強剛、振戦に対する刺鍼
2	耳鍼	食欲、ストレス緩和などの耳への施術
3	消化器症状	食欲調整、胃部不快感などに対する施術
4	三叉神経痛	三叉神経痛に対する刺鍼

5	顔面神経麻痺	顔面神経麻痺に対する刺鍼
6	急性筋筋膜性疼痛	急性筋筋膜性疼痛（寝違い・ぎっくり腰）に対する刺鍼
7	アレルギー症状	咳嗽、鼻閉、鼻汁、咽頭痛などの症状に対する施術
8	逆子	逆子への施術の留意点と施術
9	帯状疱疹	帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛予防の刺鍼
10	試験	
11	試験	
12	復習	

科目名【英】	臨床実習②【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	90	単　位	3
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	火・金曜	時　限	1限

担当教員	丸茂　美保子	実務者経験	1992年～2004年　鍼灸院、整形外科に所属 2004年～2014年　教員養成・専門学校専任教員　2014年開業
担当教員	村上　朱保	実務者経験	臨床検査技師、はり師きゅう師の国家資格、進級教員免許を保有 臨床検査技師として病院にて10年9か月 鍼灸師として7年間の臨床経験あり 中国の大学病院において中医師インターンとして5年間の実務経験あり 2015年～鍼灸専門学校にて講義・実習を担当

学習内容	学内臨床施設にて学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。
到達目標	臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療への方針を計画し、実施できる。

準備学習 時間外学習	3年次までに学んだ事柄をまとめておく。
使用教材	鍼灸施術用具
留意点 備　考	・基本的には100％出席にて評価対象となる。 ・担当教員の指導に従う。

成績評価	別紙『臨床実習ガイドライン』参照

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	臨床実習についてのオリエンテーション カルテ記載の方法など
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
2	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
3	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
4	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
5	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
6	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
7	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
8	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
9	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
10	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
11	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
12	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応

科目名【英】	総合領域① 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期:水曜 2学期:火金 3学期:木癈	時　限	1学期:2限 23学期:1限 3学期:2限

1学期 担当教員	中土　育弘	実務者経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1、2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	生理学の基礎、循環	細胞の状態、血液、血液循環について説明できる。
2	循環、呼吸	心臓、脈管系、呼吸とガス交換について説明できる。
3	消化と吸収、代謝	消化管の運動、消化液、代謝、栄養素について説明できる。
4	体温、排泄	体温調節、体熱の産生と放散、発汗、腎臓、尿生成、畜尿と排尿について説明できる。
5	内分泌	ホルモンの種類と働きについて説明できる。
6	生殖・成長と老化	生殖器、性周期、妊娠、出産、老化について説明できる。
7	神経	神経の構造と働き、受容体、末梢と中枢神経、反射、脳、脳脊髄液、自律神経について説明できる。
8	筋・運動	骨格筋、筋線維、興奮収縮連関、筋のエネルギー、筋の受容器、運動ニューロン、反射、について説明できる。
9	感覚	感覚受容器、体性感覚、内臓感覚、特殊感覚について説明できる。
10	生体の防御機構、 身体活動の協調	生体の防御機構、身体のホメオスタシスについて説明できる。
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

23学期 担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	2学期　定期試験（70%）　小テスト（30%）　　3学期小テスト（１００%）

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	呼吸	解剖・生理について説明できる。
2	呼吸	解剖・生理について説明できる。
3	呼吸	疾患について想起できる。
4	腎臓	解剖・生理について説明できる。
5	腎臓	解剖・生理について説明できる。
6	腎臓	疾患について想起できる。
7	内分泌	解剖・生理について説明できる。
8	内分泌	解剖・生理について説明できる。
9	内分泌	疾患について想起できる。
10	体温	生理学について得s爪倚出来る
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	婦人科疾患	子宮頚癌～子宮内膜症について説明できる。
2	消化器	解剖・生理について説明できる。
3	消化器	解剖・生理について説明できる。
4	消化器	疾患について想起できる。
5	生殖器	男性生殖器について説明できる。

6	生殖器	女性生殖器について説明できる。
7	膠原病	典型6疾患を列挙できる。
8	膠原病	疾患について想起できる。
9	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理について説明できる。
10	肝臓・胆のう・膵臓	疾患について想起できる。
11	血液疾患	貧血
12	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病

科目名【英】	総合領域②【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火曜 2学期：金曜 3学期：月曜	時　限	1学期：2限 2学期：2限 3学期：2限

1学期担当教員	今井　亜里紗	実務者経験	2020年4月～2026年3月　鍼灸院に所属

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	1学期：本試験【80%】＋小テスト・平常点【20%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	東洋医学概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	東洋医学概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	東洋医学概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	東洋医学概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	東洋医学概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	東洋医学概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

2学期 担当教員	高木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	２学期：本試【80%】+小テスト【20%】　3学期（水）：平常点【小テスト】にて評価【100%】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

3学期 担当教員	坂井　優志	実務者経験	金沢武士団アスリート整骨院にて１年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。

使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

３学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	解剖学の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	解剖学の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	解剖学の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	解剖学の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	解剖学の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	生理学の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	生理学の言葉を列挙できる

科目名【英】	総合領域③ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	水曜	時　限	2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
2	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
3	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
4	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
5	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
6	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
7	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
8	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
9	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
10	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
11	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
12	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。

科目名【英】	総合領域④ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	月曜	時　限	1限

担当教員	山本　岳	実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務	医療法人社団しおさき会 しおさき鍼灸施術所（2017年４月～2022年

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	国家試験に出題される解剖学の内容を説明できる。
2	国家試験対策②	国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
3	国家試験対策③	国家試験に出題される病理学の内容を説明できる。
4	国家試験対策④	国家試験に出題される臨床医学総論の内容を説明できる。
5	国家試験対策⑤	国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
6	国家試験対策⑥	国家試験に出題されるリハビリテーション医学の内容を説明できる。
7	国家試験対策⑦	国家試験に出題される東洋医学概論の内容を説明できる。
8	国家試験対策⑧	国家試験に出題される経絡経穴概論の内容を説明できる。
9	国家試験対策⑨	国家試験に出題される東洋医学臨床論の内容を説明できる。
10	国家試験対策⑩	国家試験に出題されるはりきゅう理論の内容を説明できる。
11	国家試験対策⑪	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。
12	国家試験対策⑫	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。

科目名【英】	総合領域⑤【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	水曜	時　限	1限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	衛生学・公衆衛生学①	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
2	衛生学・公衆衛生学②	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
3	衛生学・公衆衛生学③	まとめ
4	病理学①	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
5	病理学②	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
6	病理学③	まとめ
7	経絡経穴概論①	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
8	経絡経穴概論②	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
9	経絡経穴概論③	まとめ
10	まとめ	まとめ
11	試験	試験
12	試験返却	試験解説

科目名【英】	総合領域⑥【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	金曜	時　限	2限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
2	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
3	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
4	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
5	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
6	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
7	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
8	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
9	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
10	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
11	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
12	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる